

題名 戦争の悲劇と平和への誓い

鹿沼市立西中学校 (氏名) 渡邊 夏帆



私は広島での3日間を通して、戦争と平和について深く学びました。資料館では、目をそらしたくなるような事実が多くあり、胸が締めつけられる思いでした。多くの人の人生が理不尽に奪われたことに、言葉にできない程の悲しみを感じました。

平和記念式典では、世界中の人が祈りを捧げていることに感動しました。

そして、被爆者の方のお話を実際に聞きました。被爆者の方のお話はとても悲惨で、1つ1つの言葉に重みを感じました。全てのお話が想像もできない現実でした。

この派遣事業を通して、平和の実現には、「知る」だけでなく「伝える」ことが重要だと思いました。今回学んだことを多くの人に伝え語り継いでいく努力を続けていきたいと思います。